

## 心理学

|              |                          |        |          |
|--------------|--------------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 人間科学科心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 助教 |        |          |
| 担当講座・学科(分野)  | 人間科学科心理学・行動科学分野          |        |          |
| 担当教員         | 藤澤 美穂 助教                 |        |          |
| 対象学年         | 1                        | 区分・時間数 | 講義 12 時間 |
| 期間           | 前期                       |        |          |

### ・学習方針（講義概要等）

心理学は、「こころ」を科学的にとらえる学問のひとつであり、人間を探究する学問である。心理学では人間のもつ「こころ」の動きを理解するため、知覚・行動・感情などを対象とした実験・調査等がおこなわれ、また観察等を通じた人間行動解明へのアプローチがなされる。テレビや雑誌等で日常的に目にする「心理テスト」は、心理学から得られた知見をわかりやすく抽出したものであるが、学問としての心理学においては、概念の定義、論理の整合性、科学的方法論等が重視され、より学術的で厳密な態度が求められる。

本科目においては、心理学の歴史に沿って、心理学における基礎と応用の両視野を学ぶ。また学習心理学、認知心理学、社会心理学、臨床心理学、産業心理学、犯罪心理学および青年心理学の知見をもとに、「こころ」の働きと行動への影響を考える。

本科目の学修を通じ、独自性と多様性の尊重と、個人と社会の相互作用の理解を身に付けることを目指す。

### ・教育成果（アウトカム）

1. こころの科学である心理学の知識を幅広く学び、ものごとを心理学的視野により説明することができる。
2. こころと行動の理解を通して、個人・社会において生じる現象を相互作用的にとらえ、説明することができる。
3. 見えない“こころ”を理解するための多様な方法を学び、現象の背景を探究するための視野を会得できる。

（ディプロマ・ポリシー：2,3,4）

・到達目標 (SBO)

1. 学習や記憶のプロセスを心理学的視野から理解し、説明できる。
2. こころのありようを考えることを通し、人間理解の多様な視点を身につけることができる。
3. 個人と他者、個人と集団の相互作用について理解し、説明できる。
4. 自分の「こころ」への興味関心を高く保つことができる。

・講義日程

(矢) 西 105 1-E 講義室

【講義】

| 月日   | 曜日 | 時限 | 講座(学科)              | 担当教員     | 講義内容/到達目標  |
|------|----|----|---------------------|----------|--|
| 5/31 | 水  | 2  | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教 | 心理学とその歴史<br>1.心理学の誕生までの歴史を説明することができる。<br>2.見えない“こころ”へのアプローチ法について、述べる<br>ことができる。  |
| 6/9  | 金  | 2  | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教 | 心理学でいう「学習」について<br>1.心理学の「学習」の定義を述べる<br>ことができる。<br>2.古典的条件づけについて説明<br>できる。<br>3.オペラント条件づけについて<br>説明できる。<br>4.行動主義とそれまでの心理学<br>との関係について、述べる<br>ことができる。 |
| 6/12 | 月  | 1  | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教 | 認知心理学-特に記憶について<br>1.認知理論が重視されるよう<br>になった経緯を説明できる。<br>2.記憶のモデルについて説明<br>できる。<br>3.Miller の直接記憶範囲につい<br>て説明できる。<br>4.知覚的防衛について、説明<br>できる。              |
| 6/16 | 金  | 2  | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教 | 社会心理学の視点から「集<br>団」を考える<br>1.認知的一貫性理論につい<br>て、身近な例を当てはめ説明<br>することができる。  |

|      |   |   |                     |          |  |
|------|---|---|---------------------|----------|--|
|      |   |   |                     |          | <p>2.同調行動について、説明できる。</p> <p>3.服従行動について、説明できる。</p>  |
| 6/23 | 金 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教 | <p>臨床心理学の基礎</p> <p>1.臨床心理学の歴史を説明できる。</p> <p>2.臨床心理学の4領域を述べるができる。</p> <p>3.欲求と葛藤について、説明できる。</p> <p>4.愛着について、説明できる。</p>  |
| 6/30 | 金 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教 | <p>働くことの心理学</p> <p>1.職業性ストレスモデルについて説明できる。</p> <p>2.バーンアウトについて説明できる。</p> <p>3.ワーク・エンゲイジメントについて説明できる。</p> <p>4.ワークライフバランスについて、自身の意見を述べるができる。</p>                           |
| 7/7  | 金 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教 | <p>犯罪行動の心理学</p> <p>1.態度と行動の観点から、犯罪行動を説明できる。</p> <p>2.犯罪場面誘引と場面形成について、説明できる。</p> <p>3.Hirshi の social bond 理論を説明できる。</p> <p>4.犯罪の生物学的要因に関する議論について、現在到達している知見を述べるができる。</p> |
| 7/14 | 金 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教 | <p>思春期青年期の理解</p> <p>1.思春期と青年期の概念を理解し、述べるができる。</p> <p>2.パーソナル・スペースについて、説明できる。</p> <p>3.Sternberg の愛の三要素について説明できる。</p> <p>4.恋愛にかかわる感情の動きを理解し、相手を尊重した関係の重要性を述べるができる。</p>    |

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

|   | 書籍名                     | 著者名     | 発行所  | 発行年  |
|---|-------------------------|---------|------|------|
| 教 | 図説心理学入門 第2版             | 齊藤勇（編）  | 誠信書房 | 2005 |
| 参 | 心理学ビジュアル百科 基本から研究の最前線まで | 越智啓太（編） | 創元社  | 2016 |

・成績評価方法

試験の成績を 60%、提出物の評価を 30%、授業中に実施するワークへの取り組みを 10%として評価する。

・特記事項・その他

本科目は、一般的な講義に加えて、グループワークを適宜取り入れ、進行する。またコメントシート提出を求める回を設定する。

グループワークの内容、コメントシートへ記載された内容、および提出物については、内容を踏まえ、翌回の講義で解説をおこなう。

講義については、シラバスに記載されている授業内容を確認し、教科書及び毎回配布されるレジュメ等を用いて事前学修（予習・復習）をおこなうこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

予習・復習のポイント

次週の内容として示された箇所を、教科書を中心に予習をすること。

復習については、興味がある箇所は図書館の文献などで調べること。

授業で紹介する書籍や論文、DVDなどは、心理学分野研究室にもそろっていますので、積極的に研究室を訪問してください。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称                       | 台数 | 使用目的       |
|------|--------------------------------|----|------------|
| 講義   | ノート型 PC (MacBook Air MD711J/A) | 1  | 講義資料の提示    |
| 講義   | プロジェクター                        | 1  | 講義資料・教材の提示 |

|    |   |   |         |
|----|---|---|---------|
| 講義 | DVD (BR)プレーヤー                           | 1 | 教材の提示   |
| 講義 | 書画カメラ                                   | 1 | 教材の提示   |
| 講義 | デスクトップ PC (iMac21.5 ZOMP CTO Education) | 1 | 講義資料の作成 |